

第三次計画 (2019～2023年度)

基本理念 「人から人へ 伝えよう本の楽しさ 育てよう豊かな心と考える力」

関係機関	三つの柱	具体的な取組 (重点目標)	取組内容		達成度
保育園	1 本を好きになる機会の提供	① 読み聞かせ事業の継続	全園	・保育の中で、保育士が読み聞かせをした。	5
			1 森岡保	・保育の中で、季節や子どもの興味に合った絵本を探し保育士が読み聞かせを行った。	5
			2 森西保	・保育の中で、季節や子どもの興味に合った絵本を探し保育士が読み聞かせを行った。	5
			3 緒川保	・保育の中で、季節や子どもの興味に合った絵本を探し保育士が読み聞かせを行った。	5
			4 新田保	・保育の中で、季節や子どもの興味に合った絵本を探し保育士が読み聞かせを行った。	5
			5 石浜保	・保育の中で、季節や子どもの興味に合った絵本を探し保育士が読み聞かせを行った。	5
			6 石西保	・保育の中で、季節や子どもの興味に合った絵本を探し保育士が読み聞かせを行った。	5
			7 生路保	・保育の中で、季節や子どもの興味に合った絵本を探し保育士が読み聞かせを行った。	5
		8 藤江保	・ボランティアによる定期的な読み聞かせをした。 (年間8回)	5	
		② 貸出事業の推進	1 森岡保	・絵本の貸し出しをした。(月2回)	5
			2 森西保	・絵本の貸し出しをした。(月2回)	5
			3 緒川保	・希望者に絵本の貸し出しをした。	5
			4 新田保	・絵本の貸し出しを行った。 (月2回)	5
			5 石浜保	・該当なし	
			6 石西保	・該当なし	
			7 生路保	・絵本の貸し出しをした。(月2回)	5
			8 藤江保	・絵本の貸し出しをした。(5月～2月…月2回)	5
		③ 家庭での読み聞かせの推奨	1 森岡保	・月2回の貸し出し絵本を通し親子で本に触れる機会を持ってもらうようにした。	5
			2 森西保	・月2回の貸し出し絵本を通し、家庭で絵本に触れる機会を持てるようにした。	5
			3 緒川保	・中央図書館の案内「よむらび通信」を掲示し、本の紹介をした。	5
			4 新田保	・月2回の貸し出し絵本を通し、家庭で絵本に触れる機会を持てるようにした。	5
			5 石浜保	・図書館案内「よむらび通信」を掲示して本の紹介をする。 ・学年通信で子ども達の好きな絵本やおすすめ絵本を紹介した。(年3回)	5
			6 石西保	・図書館案内「よむらび通信」を掲示して本の紹介をする。 ・学年通信で子ども達の好きな絵本やおすすめ絵本を紹介するようにした。	5
			7 生路保	・月2回の貸し出し絵本を通し、家庭で絵本に触れる機会を持てるようにした。	5
8 藤江保	・中央図書館の図書案内「よむらび通信」を掲示し本の紹介をした。		5		

第三次計画 (2019～2023年度)

基本理念 「人から人へ 伝えよう本の楽しさ 育てよう豊かな心と考える力」

関係機関	三つの柱	具体的な取組 (重点目標)	取組内容		達成度
保育園	3 関連機関の 連携・協力	⑫ 団体貸出制度 の推進	1	森岡保 ・行事の際、団体貸出制度を利用した。	1
			2	森西保 ・行事の際、団体貸出制度を利用した。	1
			3	緒川保 ・行事等で団体貸出制度を利用した。	3
			4	新田保 ・行事の際、団体貸出制度を利用した。	3
			5	石浜保 ・行事の際、団体貸出制度を利用した。	3
			6	石西保 ・行事の際、団体貸出制度を利用した。	3
			7	生路保 ・行事の際、団体貸出制度を利用した。	3
			8	藤江保 ・行事の際、団体貸し出し制度を利用した。	5
		⑬ リサイクル資 料の活用	1	森岡保 ・家庭で不要になった本を頂き保育で活用した。	3
			2	森西保 ・家庭で不要になった本を頂き保育で活用した。	5
			3	緒川保 ・中央図書館のリサイクルを活用した。	3
			4	新田保 ・中央図書館で不要になった本を活用した。	5
			5	石浜保 ・図書館や家庭で不要になった本を頂き保育で活用した。	3
			6	石西保 ・中央図書館で不要になった本を活用した。 ・家庭で不要になった本を頂き活用した。	5
			7	生路保 ・中央図書館のリサイクルを活用した。	5
			8	藤江保 ・図書館や家庭で不要になった本を頂き保育で活用した。	5

基本理念 「人から人へ 伝えよう本の楽しさ 育てよう豊かな心と考える力」

関係機関	三つの柱	具体的な取組 (重点目標)	取組内容	達成度	
児童館・子育て支援センター	1 本を好きになる機会の提供	① 読み聞かせ事業の継続	1 森岡児	・子どもや職員による読み聞かせを、ほぼ毎週水曜日に行った。 ・職員による読み聞かせを水曜日以外で月2回を毎月は行えなかった。 ・こあらの日やはなはなベビィに読み聞かせを行った。	4
			2 緒川児	・学校休業日に児童クラブ児童を対象に行う。 ・こあらの日やはなはなベビィに読み聞かせを取り入れた。	5
			3 新田児	・こあらの日、はなはなベビィに読み聞かせを行った。 ・学校休業日に職員や子どもによる読み聞かせを行った。	5
			4 石浜児	・こあらの日、はなはなベビィに読み聞かせを行った。 ・個別、少人数での読み聞かせを行った。	5
			5 石西児	・児童クラブ児対象に職員による読み聞かせを1日2回程度行なった。 ・こあらの日に読み聞かせを行った。	3
			6 生路児	・1日1回職員又は児童が読み聞かせをした。 ・月に1回ボランティアに読み聞かせを依頼をし実施した。	5
			7 藤江児	・毎週金曜日にボランティアによる読み聞かせを行った。 ・職員や児童による読み聞かせを、毎週水曜日に行った。 ・はなはなベビィやこあらの日に読み聞かせを行った。	4
			8 支援セ	・ボランティアや職員による読み聞かせを水・金曜日に実施した。	5
		② 貸出事業の推進	1 森岡児	・1人6冊、2週間貸出できること、課題図書の新刊貸し出しもあることを児童館だよりや掲示にて知らせた。また、こあらの日、はなはなベビィの日等に貸し出しができることを知らせた。 ・貸出ノートを作成し、毎月の貸出数を把握した。	5
			2 緒川児	・1人6冊2週間貸出できることを児童館だよりやこあらの日、はなはなベビィの日に知らせた。	5
			3 新田児	・1人6冊2週間貸し出しできることを、児童館だよりや掲示等で知らせた。又、課題図書の新刊貸し出しについても児童館だよりや掲示等で知らせた。こあらの日、はなはなベビィの時や来館者に口頭でも知らせていった。	5
			4 石浜児	・貸し出しできる内容とともに、新しく入った本の内容を児童館だよりやこあらだよりで知らせた。 ・こあらの日やはなはなベビィで児童館の本を読みながら、絵本の紹介をする。	5
			5 石西児	・1人6冊2週間貸し出しを行った。おすすめの本を掲示等で知らせたり夏休みには、課題図書の新刊貸出ができることを児童館だより、館内の掲示で知らせたりした。	4
			6 生路児	・図書の貸し出しを1人6冊2週間おこなう。その月のおすすめの本などを掲示で知らせた。 ・貸出強化月間を設け、読んだ本でビンゴをするヨミヨミビンゴを開催した。	4
			7 藤江児	・1人6冊2週間貸し出しできることを、児童館だよりや館内掲示等で知らせた。夏休み前から、課題図書の新刊貸し出しができることを児童館だよりや、掲示で知らせた。 ・こあらの日、はなはなベビィの日等に貸し出しができることを知らせた。	5
			8 支援セ	・子育て広場にて季節の絵本やスタッフおすすめの本を目に付く場所に置き、親子で本に興味を持てるようにした。	5
		③家庭での読み聞かせの推奨	1 森岡児	・中央図書館の児童新刊案内「よむらび通信」を見やすい所に掲示し、保護者の図書選びの参考とした。 ・家庭との連携を行い、発達や興味に合わせた本を定期的に紹介した。 ・ブックスタートの本の交換ができることを検診などでPRできなかったため、来館者に交換ができることを伝えた。	4
			2 緒川児	・季節にあったものや中央図書館の「よむらび通信」を活用し、読み聞かせの本を紹介した。 ・こあらの日に絵本の紹介をした。 ・ブックスタートの本の交換ができることを検診でPRすることができなかった。	4
			3 新田児	・中央図書館の児童新刊案内「よむらび通信」を見やすい所に掲示し、図書選びの参考になるようにした。 ・新刊やおすすめ本を見やすく紹介した。	4
			4 石浜児	・親子事業で、絵本の良さ読み聞かせの大切さを伝え、家庭でも絵本を読んであげたいと思ってもらえるようにした。	5

基本理念 「人から人へ 伝えよう本の楽しさ 育てよう豊かな心と考える力」

関係機関	三つの柱	具体的な取組 (重点目標)	取組内容		達成度
児童館・子育て支援センター	3 関連機関の連携・協力	⑫団体貸出制度の推進	5	石西児 ・「よむらび通信」を目のつきやすい場所に掲示することで本を選ぶヒントにした。児童クラブでの読み聞かせの様子をクラブだよりや、帰り時などに伝えていき関心を高めた。 ・ブックスタートの本の交換ができることを検診などでPRした。	4
			6	生路児 ・こっこ、ひよこで読みかせをした時に家庭でも出来ることを保護者に促した。 ・ブックスタートの本の交換ができることを検診などでPRした。	4
			7	藤江児 ・新しく購入した本やおすすめの本を置くコーナーを作ったり、職員が実際に読み聞かせをしたりして紹介した。 ・ブックスタートの本の交換ができることを検診などでPRした。	4
			8	支援セ ・絵本の読み聞かせを通して、絵本の良さを伝えていった。 ・ブックスタートの本の交換が出来ることを検診などでPRした。	4
			1	森岡児 ・読み聞かせ、こあらの日、行事等の職員の読み聞かせ時に団体貸出を利用しなかった。借りたい大型絵本がなかったのと、個人のカードで借りた。	1
			2	緒川児 ・こあらの日、行事等で大型絵本を借り利用した。	4
			3	新田児 ・母親クラブの方に薦めた。職員は個人的に図書館の本・紙芝居を借りた。	3
			4	石浜児 ・児童館事業での利用だけでなく、母親クラブの方に、団体貸し出し制度について知らせ活用してもらえるようにする。	1
	5	石西児 ・日々の読み聞かせで様々な物語に親しめるよう図書館団体貸し出しを利用した。	5		
	6	生路児 ・こあらの日やお楽しみ会などで大型絵本や紙芝居を借りようとしたが、必要な本を借りる事ができなかった。	1		
	7	藤江児 ・こあらの日やお楽しみ会などの行事、また職員の読み聞かせ時に団体貸出を利用した。	5		
	8	支援セ ・ボランティア団体や子育てサークルへの絵本・紙芝居の貸し出しを行った。	5		
	⑬リサイクル資料の活用	1	森岡児 ・中央図書館や家庭で不用になった本を活用した。	3	
		2	緒川児 ・中央図書館と家庭で不用になった本を活用した。	5	
		3	新田児 ・中央図書館や家庭で不用になった本を活用した。	4	
		4	石浜児 ・図書館や家庭で不要になった本を活用した。	4	
5		石西児 ・中央図書館や家庭で不用になった本を活用した。	4		
6		生路児 ・中央図書館や家庭で不用になった本を活用した。	5		
7		藤江児 ・中央図書館や家庭で不要になった本を活用した。	5		
8		支援セ ・家庭で不要になった絵本等は、支援センター内で活用した。	1		

第三次計画 (2019～2023年度)

基本理念 「人から人へ 伝えよう本の楽しさ 育てよう豊かな心と考える力」

関係機関	三つの柱	具体的な取組 (重点目標)	取組内容	達成度
------	------	------------------	------	-----

東浦町子ども読書活動推進計画 令和3年度 実績書 (生涯学習課・健康課)

第三次計画 (2019～2023年度)

基本理念 「人から人へ 伝えよう本の楽しさ 育てよう豊かな心と考える力」

関係機関	三つの柱	具体的な取組 (重点目標)	各校の取組内容	達成度
生涯学習課	1 本を好きになる 機会の提供	① 読み聞かせ事業の継続 (絵本コーナーの充実)	・ 託児付講座、講演会開催時に託児所を設置し、必要に応じて、1歳～未就園児に対し読み聞かせをした。 (新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、受講定員数減)	3
健康課	1 本を好きになる 機会の提供	① 読み聞かせ事業の継続 (図書の計画的購入)	・ コロナウイルス感染状況に応じて、健診の待ち時間に利用する絵本コーナーの設置・絵本の購入を検討した。	3
		④ ブックスタート事業の 充実	・ ブックスタート事業のポスターをロビーに掲示した。 ・ 4か月児健診、1歳6か月児健診でブックスタート事業として絵本交換券を渡し、中央図書館に絵本を取りに行くよう勧奨した。	5

令和3年度 東浦町子ども読書活動推進計画 実績書 【中央図書館】

第三次計画（2019～2023年度）

※取組内容内の（中止）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための中止を示す。

基本理念 「人から人へ 伝えよう本の楽しさ 育てよう豊かな心と考える力」

関係機関	3つの柱	具体的な取組 (重点目標)	取組内容	達成度
中央図書館	1 本を好きになる 機会の提供	子どもたちに親しまれる行事	<ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせボランティアグループ、よむらびサポーターにより、毎週水曜日（乳幼児向け）、土曜日に「おはなし会」での絵本、紙芝居の読み聞かせを実施した。（中止：6月、9-10月、R4.2-3月） 4月から6月まで、9月から11月までの好天時の土曜日は「お外も図書館」として石田公園で実施予定であった。（中止） 読書感想文の書き方教室、読書感想文相談講座、よむらびフェスタ、クリスマス会などの行事を実施した。 開館30周年記念として、子どもたちが図書館に親しむ機会の提供を行った。記念イベント：絵本作家わたなべちなつ氏によるトーク・ワークショップ「わたなべちなつさんと一緒につくろう！かがみのしかけの海の仲間たち」を実施した。 「ぬいぐるみおとまり会」を5月、10月の計2回実施し、図書館に親しむためのきっかけづくりとした。 中央図書館作成の「読書通帳」を配布し、子どもたちの利用促進を図った。 学年別の本を選書したよむらび福袋の貸し出しを行った。 	5
		発達段階に応じたブックリストの配付	<ul style="list-style-type: none"> 各年代対象におすすめ本のリストを作成し配付した。ホームページ等にも掲載し利用促進を図った。 	5
		新着図書案内「よむらび通信」の発行	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館の新着図書案内「よむらび通信」を、町内各小中学校・ふれあい学級、保育園、児童館及び子育て支援センターに配付した。 	5
		小学校用「中央図書館だより」発行	<ul style="list-style-type: none"> 年2回、小学校3年生・4年生向けの「中央図書館だより」を発行した。 	5
		「よむらび」マスコットキャラクターの普及	<ul style="list-style-type: none"> マスコットキャラクター「よむらび」を普及推進し、子どもの図書館へのイメージアップを図った。 ゆめらびコーナーオープンに合わせ、新マスコットキャラクター「ゆめらび」「きくらび」「みるらび」を作成し、ゆめらびコーナーPRに活用した。 よむらび七夕、よむらび福袋、よむらびPOP、よむらびすごろく、よむらび絵馬、よむらび年賀状等の企画を実施し、子どもたちの読書への興味・関心を高める活動を行った。 「よむらび」の着ぐるみを活用し、図書館のPRを図った。 	5
	2 読書環境の整備・工夫	絵本を中心とした児童図書の選定	<ul style="list-style-type: none"> 県立図書館等より児童に関する情報の提供を受け、有用な情報は保育園、小学校に提供した。 年間を通して寄贈本の呼びかけを行い、資料の充実を図った。 布絵本、点字絵本購入など、障がいのある子ども向けの図書を充実させた。 	5
		特集展示（館内）の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 毎月テーマを設定して特集展示を工夫し関連図書の貸出促進に努めた。（中止：9月） 新コーナー内（ゆめらびコーナー）の常設展示は、生涯学習をメインテーマにして資料の充実に努め、読書の推進を行った。また、読書の幅を広げる機会の提供を行った。 	5
		外国語児童図書の収集	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の児童向け絵本及び英語多読本を購入した。 	5
		中高校生向け本棚の充実	<ul style="list-style-type: none"> 中高生向けの図書を集めた本棚を設置し、司書等が選書した中高生向けの図書を提供した。 	5
	3 関連機関との連携・協力	⑫ 団体貸出制度の推進	<ul style="list-style-type: none"> 団体貸出の利用方法を学校、保育園、児童館へ通知し、利用を継続的に呼びかけた。 	5
		⑬ リサイクル資料の活用	<ul style="list-style-type: none"> 4月（本）、8月（雑誌）、11月（本）の年3回、中央図書館、家庭で不要（寄贈本）になった資料を保育園、児童館、学校等関連施設に提供した。その後、リサイクルフェアで一般に配布提供し、図書館で不要になった資料の再利用に努めた。 	5

令和3年度 東浦町子ども読書活動推進計画 実績書 【中央図書館】

第三次計画（2019～2023年度）

※取組内容内の（中止）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための中止を示す。

基本理念 「人から人へ 伝えよう本の楽しさ 育てよう豊かな心と考える力」

関係機関	3つの柱	具体的な取組 (重点目標)	取組内容	達成度
	3 関連機関との連携・協力	講座の充実	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、ボランティア、学校教職員、保育士に対して幼児、児童・生徒が読書に興味・関心を示すことにつながる講座を開催した。 読み聞かせ活動の充実と地域教材活用の講座を開催した。 ※ 教員対象：小冊子「南吉さんから常民さんへ ～六通の手紙～」活用講座 ※ 一般・ボランティア・保育士対象：「本の修理講座」「絵本の読み聞かせ・わらべうた講座（中止）」「紙芝居の世界～理論と演じ方～講座」 	5
		図書館ボランティアとして、児童・生徒・大学生の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> 7月から12月までの期間、小学校5年生から高校生までの図書館ボランティアを継続的に受け入れた。（中止：9月-10月中旬） 	5
		⑭ 図書館ボランティア団体との連絡会	<ul style="list-style-type: none"> 年に一度、図書館ボランティア団体の代表者会議を開催し、図書館行事への連携・協力を依頼した。 	5
中央図書館	その他の活動	④ ブックスタート事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> 4か月児健診会場では、中央図書館が「はじめてであう赤ちゃん絵本」のリストと絵本引換券を配付した。本との出会いの提供とともに各施設の利用促進につなげた。 4か月児は4種類、1歳6か月は6種類の絵本から1冊を選択させた。 図書館職員及び読み聞かせボランティアが4か月健診時に保護者及び子どもへ読み聞かせを行った。（中止：5月、6月、9月、10月、1月、2月） 	5
		ホームページの活用	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館の施設、利用方法、行事、新着本などを紹介した。 予約・リクエスト制度をPRし、資料の利用促進を図った。 読書関連行事をPRしながら、保護者に読書活動の大切さを伝え親子来館につなげた。 新刊案内や行事のPRのためにSNSを活用した。 	5
		社会体験、職場体験、小学生の図書館見学会の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> 「職場体験」として、中学2年生の生徒を受け入れ、図書の貸し出し、返却、排架等を通じて図書館業務の一端を知ってもらう予定であった。【参加なし】 町内の小学校3年生（内1校は2年生）を対象に「図書館見学」を行った。図書館の仕事の説明し、館内見学とともに、事前に作成した図書館カードを実際に活用することで貸出の流れを知ってもらう機会とした。（4校） 	4
		学級文庫充実事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館支援として、中央図書館の閉架書庫の資料を各校の学級文庫として巡回させた。（150冊×3学期）町内各小学校（6校） 	5
		学校図書館担当者との情報交換	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館担当教諭等に図書に関する資料及び情報の提供を行った。 学校図書館サポーターと図書館指導員が隔月1回打合せ会を開催し情報交換を行った。 学校図書館主任者会に図書館長と図書館指導員が参加し情報交換を行った。 	5

令和3年度 東浦町子ども読書活動推進計画 実績書 <実施課：学校教育課>

関係機関	三つの柱	具体的な取組 (重点目標)	実施内容	達成度	
学校	1 本を好きになる 機会の提供	⑤ 読書タイム の継続	藤江小	・毎週火曜日と金曜日の朝8:25～8:40に読書タイムを実施し、読書に親しむ時間の確保に努めた。	5
			生路小	・毎週木曜日と金曜日、朝8:20～8:35の15分間を読書タイムとして全校児童で取り組んだ。読書する本の対象を学校図書コーナーで借りた本、学級文庫の本、自宅から持参した本、中央図書館の本とする。金曜日は担任等の読み聞かせを行った。	5
			片葩小	・月・水・金曜日の朝8:25から8:40までの15分間行なった。担任教師も職員打ち合わせ後、一緒に読書をした。適宜、担任による読み聞かせをした。	5
			石浜西小	・毎週火曜日から金曜日の朝10分間を読書タイムとして日課に組み入れた。	5
			緒川小	・火、水、木曜日のうち週2日、朝8:30～8:40の10分間、自由読書を行った。 ・年3回、担任や学年の教師による読み聞かせを行った。	5
			卯ノ里小	・毎週月曜、水曜、木曜、金曜8:20～8:35の15分間を読書タイムとし、学校全体で取り組むことで、落ち着いた一日の始まりを迎えることができるようにした。	5
			森岡小	・毎週火曜日の朝、10分間の読書タイムを設定し、自由読書を行った。 ・毎週金曜日の朝、10分間読書をしたり、担任による読み聞かせやテレビ放送による読み聞かせ(教師、図書委員)を視聴したりした。 また読書郵便、読書の記録を書いた。	4
			東浦中	・ST前の時間を使った学習タイムを活用させて、生徒が落ち着いた一日をスタートできるようにした。また、朝の学習タイムに適した図書の選定・紹介コーナー設置に力を入れた。	4
			北部中	・読書タイムを全校で取り組む意義を、生徒だけでなく職員に理解してもらうよう発信した。 ・読書タイムに適した図書を選定し、放送で発信するとともに配架した。 ・昼の放送を通して、読書タイムに適した図書の紹介を行った。	5
			西部中	・火曜日から金曜日の8:25から8:35の間で読書タイムを行った。	5
		⑥ 読み聞かせ の工夫	藤江小	・PTA研修部に協力を依頼し、1学期から朝の読書タイムに数回読み聞かせを行った。 ・教師による読み聞かせを2学期に行った。	5
			生路小	・毎週金曜日に担任が読み聞かせを行った。年4回担任以外の教員による読み聞かせや図書委員会児童の読み聞かせも行った。コロナの状況によるが、保護者の読書ボランティアにも読書週間中の読み聞かせを依頼した。 ・児童会活動として、学期に1回程度ペア読書を行った。	4
			片葩小	・ペアによる読み聞かせ(高学年が低学年に、低学年が高学年に)や、担任を入れ替えて読み聞かせを行った。また、PTA委員や図書委員会による読み聞かせを行った。	1
			石浜西小	・年間12回、読書タイムに教師による読み聞かせを実施した。また、年間8回、異学年ペアによる読み聞かせを計画していたが、コロナウイルスの関係で実施できなかった。	3
			緒川小	・地域の読み聞かせボランティアによる大型絵本の読み聞かせや、放課に低学年が好きな本をボランティアに読んでもらう機会を作った。 ・図書館サポーターや図書委員、ペアの高学年による読み聞かせを行った。	5

令和3年度 東浦町子ども読書活動推進計画 実績書 <実施課：学校教育課>

関係機関	三つの柱	具体的な取組 (重点目標)	実施内容	達成度	
学 校	1 本を好きになる 機会の提供	⑥読み聞かせ の工夫	卯ノ里小	<ul style="list-style-type: none"> 学期に数回、保護者読み聞かせボランティア「ピーターパン」に来校してもらい学年ごとに読み聞かせを行った。その際、クラスを複数のグループに分けて、少人数で読み聞かせが行えるようにした。 学期に1回程度、担任や担任以外の職員による読み聞かせも行った。 	5
			森岡小	<ul style="list-style-type: none"> P T Aが主催し、年間6回火曜日の2時間目に読み聞かせを行った。地域の読み聞かせグループをゲストに呼び、読み聞かせをした。 月1回、10分間のテレビ放送による読み聞かせを教師と図書委員が行った。 児童会と協力して、ペア学年で読み聞かせを行う。(感染症予防のためできなかった) 火曜日の読書タイムか授業時間を使って、図書館サポーターによる読み聞かせやブックトークを各学級1年間に1回ずつ行う予定である。 	4
			東浦中	<ul style="list-style-type: none"> 三密を避け、可能な限り図書パートや諸機関などと連携して読み聞かせを行う計画だったが、時間の確保など諸条件が合わず、できなかった。 	1
			北部中	<ul style="list-style-type: none"> 国語科の授業内で、図書館サポーターによる「夏の課題図書」のブックトークを実施した。 国語の授業で、教科担任が図書館の本の紹介を兼ねて読み聞かせを行った。 	4
			西部中	<ul style="list-style-type: none"> 教員による読み聞かせの機会を年3回程度設けた。 	5
学 校	1 本を好きになる 機会の提供	⑦マイブック の習慣化	藤江小	<ul style="list-style-type: none"> マイブックの習慣化を呼びかけ、雨天時の放課や給食後などの隙間時間にも読書が楽しめるようにした。 	4
			生路小	<ul style="list-style-type: none"> 読書タイムを設定することで、読書の習慣化を図った。自宅から持参した本を読むことも勧めた。 	5
			片葩小	<ul style="list-style-type: none"> 本の配置を工夫して魅力ある図書館にした。また、学級へは「おすすめの本」を配付し、中央図書館からの本の貸し出し等を利用して、身近な場所へ本を置き、さまざまな本を手にする機会を増やした。 	5
			石浜西小	<ul style="list-style-type: none"> 家庭からの本の持参を認め、朝の読書タイム等に読書できるようにした。図書館まつりでブックマーカーを作成した。 	5
			緒川小	<ul style="list-style-type: none"> 読書タイムを設定することで、読書の習慣を身に付けさせるとともに、自分の興味や学年に応じた本を常に身近に置くように習慣付けた。 	5
			卯ノ里小	<ul style="list-style-type: none"> 本の貸し出しを1回につき2冊として、借りた本は自分の机の中で保管をした。そうすることによって、いつでも気軽に手にとって本を読むことができ、愛着をもって本に親しむことができた。 	5
			森岡小	<ul style="list-style-type: none"> 机の中に現在読んでいる本を入れておくことを勧めた。 	4
			東浦中	<ul style="list-style-type: none"> 学習タイムに読む本として、活字本を自宅から持参させたり、図書館で借りて読ませるようにさせた。 	3
			北部中	<ul style="list-style-type: none"> 委員会の活動としてマイブックアンケートを行い、結果を掲示することで生徒たちが互いに情報交換し、一定ジャンルに偏る傾向を少しでも軽減できるようにした。 	4
			西部中	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝の読書タイムには、自分の本を家から持参させた。 	5
			藤江小	<ul style="list-style-type: none"> 夏期休業中と冬期休業中は、学校の図書貸し出しを一人3冊とし、家庭読書の一つとして利用させた。 	5
			生路小	<ul style="list-style-type: none"> 「図書館便り」を通して、家庭への読書啓発を行った。 除籍した図書を児童にリサイクル本として還元し、家庭での読書に活用してもらった。 	3
			片葩小	<ul style="list-style-type: none"> 「夏休みの生活」の便りに、親子での読書を勧めた。また、全校児童へ「親子読書カード」を配付した。 	5

令和3年度 東浦町子ども読書活動推進計画 実績書 <実施課：学校教育課>

関係機関	三つの柱	具体的な取組 (重点目標)	実 施 内 容		達成度
学 校	1 本を好きになる 機会の提供	⑧ 家庭読書の 推奨	石浜西小	・夏季休業を利用し、親子読書活動を実施した。家庭向けの案内プリントを配付し、読んだ本や感想を記入し提出してもらった。また、図書館に掲示した。	4
			緒川小	・計画的に読書に取り組む宿題を出した。	4
			卯ノ里小	・夏季休業中は学校の図書を一人3冊貸し出し、家庭読書の一つとして利用させた。多様な家庭があり、各家庭によって本を所持している冊数等は異なるが、学校から本を貸し出すことにより、児童は家庭でも読書習慣を身に付けることができた。	3
			森岡小	・PTAが図書新聞を随時発行した。親子読書を勧めた。	4
			東浦中	・定期的に、図書館だよりを発行した。	3
			北部中	・図書館だよりで家庭での読書や選書の参考になるような情報を提供した。	3
			西部中	・夏休み・冬休み等の長期休業中においても貸し出しを許可し、家庭で本を読む機会を増やした。	5
学 校	1 本を好きになる 機会の提供	⑨ 望ましい 図書資料の 選定	藤江小	・各学年の教師が、発達段階にふさわしい図書資料を選んだ。また、特別支援の教師や、専科の教師、養護教諭等にも声をかけ、様々な人の目で選んだ。最終的には、読書サポーターと図書主任が確認をし、図書全体のバランスを見て必要な本を購入した。	3
			生路小	・学年の発達段階に応じた図書を選定し資料の充実を図った。 ・東浦町中央図書館から学期ごとに150冊の図書を借り、各学年の学級文庫の充実を図った。	5
			片葩小	・各学年の教師が発達段階にふさわしい図書資料を選んだ。また、特別支援や専科の教師、養護教諭にも声をかけ、さまざまな人の目で選んだ。最終的には、読書サポーターと図書主任が確認をし、図書館全体のバランスを見て必要な本を購入した。	3
			石浜西小	・年度初めに、業者に本を持参してもらい、全職員・学校図書館サポーターで現物を見ながら児童の実態に合った本を選んだ。	5
			緒川小	・図書館サポーターや図書館サービスの情報を参考に、学習に必要な図書資料の充実を図った。	5
			卯ノ里小	・年度初めに、(株)東海図書館サービスに来校していただき各学年に望ましい図書資料の選定を行った。	4
			森岡小	・5～6月に図書を購入した。授業で使う本を随時購入する。(残った予算で、授業で使う本を注文する予定である。)	4
			東浦中	・教職員・生徒から意見を聞き、購入図書資料を選定した。	5
			北部中	・図書館指導部の職員だけでなく、さまざまな立場の教職員、委員会の生徒、学校図書館サポーターなど、多くの目で図書資料を選定した。	5
			西部中	・図書購入の際、図書委員を立ち合わせたり、学校司書の意見を取り入れたりして、生徒のニーズに合った本や中学生に望ましい図書を購入した。	5

令和3年度 東浦町子ども読書活動推進計画 実績書 <実施課：学校教育課>

関係機関	三つの柱	具体的な取組 (重点目標)	実施内容	達成度	
学 校	2 読書に親しむ 環境の整備	⑩ 推薦図書コー ナーの工夫	藤江小	・各学年15冊のおすすめ図書文庫を設置済み。おすすめ図書の読書記録用紙を準備し、読書を勧めた。	4
			生路小	・各学年の学級文庫に「推薦図書」を入れ、1年間で10冊読むことを目標とした。 ・児童の図書ファイルに推薦図書のリストを入れ、読んだら自己評価させた。	4
			片葩小	・各学年の授業内容や発達段階に合わせた「おすすめの本」を、各クラスに8冊ずつ配った。	5
			石浜西小	・学年ごとに推薦図書を選定し、年度内に完読することを目標とした。読んだ感想や心に残った場面などを読書記録として書かせた。	4
			緒川小	・図書館サポーターと協力して、各学年にある図書コーナーに推薦図書を並べたり、全児童の目につきやすい場所におすすめの本を掲示したりして、児童が本を手に取りやすいコーナーにした。	5
			卯ノ里小	・学校図書館サポーターと連携し、図書館の平積みコーナーの整備をした。季節や流行の本を定期的に入れ替え、児童の興味関心を引く推薦図書コーナーを整えた。	4
			森岡小	・季節や行事に合わせて、図書館サポーターや図書委員が推薦図書を選び、おすすめの本としてコーナーを作って設置した。 ・モリモリ推薦図書として各学年で推薦図書を選定し設置した。	4
			東浦中	・委員会の生徒や、図書館サポーターによるコーナーの充実を図った。	5
			北部中	・学校図書館サポーターの力を借りて、季節や学校行事、社会の動きなどに合わせた館内のコーナーを一層充実させた。 ・委員会活動で本の帯作りを行い、図書委員の推薦図書を発信するとともに、館内に推薦図書コーナーを作った。	4
			西部中	・新刊図書や推薦図書のコーナーを設け、本に興味や関心をもたせる配置をした。	5
学 校	2 読書に親しむ 環境の整備	⑪ 学級文庫充実 事業の充実	藤江小	・構内の図書館の廃棄本や数冊ある本を、リサイクル本として学級文庫に配架した。 ・中央図書館からの学級文庫を一定期間ごとにクラス間で交換した。	5
			生路小	・定期的に学校図書コーナーの本を学年の本棚に移動して、学級文庫の充実を図った。 ・東浦町中央図書館から借りた本を活用して、学級文庫の充実を図った。	5
			片葩小	・中央図書館や校内の図書館の廃棄本等を利用して、学級文庫に配架した。また、中央図書館に本の貸し出しをお願いして学級文庫として配架し、さまざまな本に触れられるようにした。	5
			石浜西小	・学級ごとに学級文庫を設置し、年度内にクラス間の入れ替えを行った。また、中央図書館から借りた本も置き、本の充実を図った。	4
			緒川小	・学級文庫は無いが各学年に図書コーナーがあるため、学年に応じた本やおすすめの本を置くようにした。	4
			卯ノ里小	・本校では、図書館以外に各学年の図書コーナーが常設されており、学年の実態に応じた学校図書が排架されている。児童にとって身近な環境にある本を充実させ、児童の読書を積極的に促した。	4
森岡小	・各学級に80～100冊年度の途中で入れ替えをした。 中央図書館からのリサイクル本を学級文庫に入れる。 (学級文庫の冊数が多いため、リサイクル本は受けなかった。)	3			

令和3年度 東浦町子ども読書活動推進計画 実績書 <実施課：学校教育課>

関係機関	三つの柱	具体的な取組 (重点目標)	実施内容		達成度
		⑪ 学級文庫充実 事業の充実	東浦中	・委員会活動で、図書の入れ替えをできる限り多く行うようにした。	2
			北部中	・委員会活動の中で館内の図書を複数回学級に貸し出し、生徒がさまざまな図書にふれる機会を作った。	5
			西部中	・各クラス30冊程度の学級文庫を配布し、一定期間でローテーションを行い、多くの本に触れる機会を設けた。	4
学 校	3 関連機関の連携・協力	⑫ 団体貸出制度の推進	藤江小	・中央図書館から学期ごとに約100冊の貸し出しを受け、学級単位で回した。	5
			生路小	・東浦町中央図書館の団体貸出可能枠を利用し、各教科に必要な資料を充実させた。	4
			片葩小	・団体貸し出しの利用方法を定期的に各学年の教師に知らせ、学習状況に応じて貸し出しを利用するように促した。	3
			石浜西小	・学年ごとに中央図書館の団体貸し出しを利用して、各教科及び総合的な学習の時間で利用する学習資料の充実を図った。	3
			緒川小	・町中央図書館の団体貸出制度を利用し、学習に必要な資料を充実させた。 ・町中央図書館から学期ごとに150冊の図書を借り、学年に応じて配架した。	5
			卯ノ里小	・学校図書館サポーターと連携し、学期に1回程度、団体貸出制度を利用して学級文庫の充実を図った。また、総合的な学習の時間や、各教科の学習の際に団体貸出を利用できることを職員で情報共有し利用を促した。	4
			森岡小	・担任へ呼びかけ、授業で活用する。(活用はなかった。)	2
			東浦中	・定期的に職員に情報提供し、「総合的な学習の時間」や行事のテーマに合わせて、資料となる本を提供した。	3
			北部中	・町の中央図書館からの情報を校務支援システムを通して職員に周知し、授業等での活用について情宣を行った。	4
			西部中	・職員への周知を図った。	2
学 校	3 関連機関の連携・協力	⑬ リサイクル資料の活用	藤江小	・本のリサイクルフェアにて譲渡を受け、図書館や学級文庫に入れた。	5
			生路小	・東浦町中央図書館のリサイクル資料を積極的に活用した。	5
			片葩小	・図書館に不足している資料の種類を調べ、中央図書館よりリサイクル資料を配付してもらった。	5
			石浜西小	・中央図書館等のリサイクル本を積極的に活用した。	4
			緒川小	・町中央図書館のリサイクル資料などを積極的に活用してもらえるように職員に声をかけた。	2
			卯ノ里小	・中央図書館等のリサイクル本を積極的に活用した。	4
			森岡小	・学級文庫に入れ、学級文庫の魅力を増やす。 (学級文庫の冊数が多いため、リサイクル本は受けなかった。)	2
			東浦中	・新旧の本の入れ替え時に多くの職員に知らせ、可能な限り多くの目で資料を選定できるようにした。	3
			北部中	・町の中央図書館からの情報を校務支援システムを通して職員に周知した。	4
			西部中	・町中央図書館が企画するリサイクルフェアに積極的に参加し、学校図書の充実を図った。	5